

静岡市公営企業管理者 森下 靖 様

静岡市上下水道事業経営協議会

会長

静岡市下水道使用料に関する意見書

静岡市上下水道事業経営協議会（以下、「経営協議会」という。）は、令和5年度からの次期下水道使用料について、上下水道事業経営戦略策定に関する協議と並行して協議しましたので、本協議会として取りまとめた意見を下記のとおり提出します。

次期の下水道使用料の取扱いに当たっては、当意見書の趣旨を尊重されるとともに、十分検討を行ったうえで決定されるよう要望します。

記

1 次期の下水道使用料について

(1) 下水道使用料算定期間

下水道使用料は、市民生活に密接に関係しており、使用料の安定性、期間負担の公平性、原価把握の妥当性、事業者の経営責任の面などを考慮すると、公益社団法人 日本下水道協会の「下水道使用料算定の基本的考え方」に示される基準範囲内である4年（令和5年度から令和8年度まで）（以下、「次期算定期間」という。）とすることは、適切であると考えます。

(2) 次期の下水道使用料の方向性について

収入面では、整備区域の拡大により接続戸数が増加しているが、それを上回る人口減少の影響により「下水道使用料収入」は、今後も減少傾向が続くと予想されます。また、支出面では、老朽化した下水道管及び施設の更新や、耐震化対策の早期実施に加え、加速化するグリーン・トランスフォーメーション（GX）やデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進に向けた取組など、今後の計画的な事業実施には多額の経費が必要となり、その財源の確保が不可欠であることは理解できます。

しかしながら、次期算定期間における収支見通しから、少なくとも同期間においては、現行の下水道使用料体系及び単価を維持しても健全経営が可能であると判断された点については評価したいと考えます。

(3) 下水道使用料計算方法

現行の下水道使用料計算では、10円未満の端数金額を切捨てとしています。

今回、「10円未満の端数金額の切捨て」を「1円単位での計算」に変更することは、下水道の排水量を正確に反映した計算となるため、妥当であると考えます。

2 意見・要望について

(1) 次期算定期間における収支見通しから考察すると、令和9年度以降の下水道事業の健全経営を確保するためには、より一層効率的な事業運営に努めるとともに、人口減少や物価高騰に伴う建設及び維持管理コストの上昇など社会環境の変化に即し、適正な下水道使用料を早期に検討することが必要と考えます。

将来的に下水道使用料の体系及び単価改定が必要な状況になった場合には、市民の理解が得られるよう十分な説明を行うよう要望します。

(2) 下水道事業の費用負担においては、単に利用者に負担を求めるだけでなく、公費で賄うべきものは公費の確保に努めるよう要望します。

(3) 経営協議会の各委員からの意見・要望事項等についても配慮し、今後の下水道事業の運営に活かされることを要望します。

以上